

わたつみじんじや

## 和多都美神社

**神社番号** 63 式内社（名神大社）  
境内社 波良波神社・濱殿御子神社  
古式大祭 旧8月1日

### 周辺の神社

濱殿神社、和多都美御子神社（64）、  
阿恵神社（65）

### アクセス

豊玉町仁位の国道382号線の分岐点  
から川沿いに2.9km進み、赤い大鳥居  
の先の海辺に鎮座。



### 周辺の雰囲気・環境など

対馬市豊玉町仁位（とよたままちに  
い）は、対馬の中央に広がる浅茅湾北  
岸に位置する、同町の中心部です。仁  
位川沿いに古くから集落が形成され、  
弥生時代後期には対馬の中心地だっ  
たと考えられています。また、室町時代  
にも宗家の館が置かれ、栄えました。

和多都美神社から1.6キロ南下する  
（坂道を登る）と鳥帽子岳展望所です。

展望所から波穏やかな浅茅湾を一望  
すれば、古代の海人族が、この地こそ  
が海神に守られた竜宮だと考えたこと  
が納得できます。

### 神社のプロフィール

和多都美神社は、浅茅湾北西岸の最  
奥部に鎮座しています。この地に大海  
神・豊玉彦の海宮（わたつみの宮＝竜  
宮）があり、祭神の山幸彦と豊玉姫は  
ここで出逢ったとされています。

秋の大潮の満潮時、海の女神の力が  
文字通り「最高潮」に達するころ、古  
式大祭が催行され、中世に起源をもつ、  
女性が舞う神楽「命婦（みょうぶ）の  
舞」が奉納されます。

拝殿前にならぶ5つの鳥居のうち2  
つは海中にあり、満潮時は海中に、干  
潮時は干潟の上に基台まで露出し、ま  
た秋の大潮の満潮時には拝殿近くまで  
海面が上昇するなど、海神を祭るにふ  
さわしい雰囲気です。



御神木は本殿から這い出ている竜の姿



裏参道にある磐座「豊玉姫の墳墓」